

提案募集番号2-15

<作目・畜種：施設果樹>



愛知県の 産地の現状

🍁ハウスミカンでは高収量を目指した炭酸ガス施用の導入が進んでいる。
ハウスミカン：結果樹面積(84ha)、出荷数量(4千t)



農総試での 関連研究成果

🍁ハウスミカンでは炭酸ガス施用による高品質・増収技術を開発してきた。



解決したい 困りごと

🍁ハウスミカンの炭酸ガス施用は灯油燃焼方式が主流であるが、年間1000 Lの灯油を必要としており、燃油高騰のため低コスト化が望まれている。また、暖房機から排出される炭酸ガスや、有機質を豊富に投入された土壌から放出される炭酸ガスの有効利用が検討されていない。



解決案

提案募集番号2-15

キーワード：排出される炭酸ガスの有効活用

🍁炭酸ガス回収再利用システムの構築

暖房機から排出される炭酸ガスや、土壌から放出される炭酸ガスを回収、貯留し再利用できる装置を開発することにより、環境に配慮した農業の実践と低コスト化を図ることができる。

担当者：園芸研究部・常緑果樹研究室・江崎幾朗、権田絵美莉